

2013年
No.70

国際こだいら



KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION



● インタビュー：リトアニア共和国

● 防災館(そなエリア)ツアー

● ピサンキ教室、韓国語入門講座

ほか、協会のイベントなどをお知らせしています

国際こどもクラブ英会話レッスン

5月11日～7月13日 全10回

国際こどもクラブは小学4年生から6年生が対象の、外国人講師による英会話レッスンと異文化理解講座です。今期の英会話は、ジャマイカ出身のニコル先生になりました。

7回目のこの日は、動物の名前を使って“Do you like…?”の練習です。先生は犬のカードを見せて“dog”と教えながら“Do you like dogs?”(犬は好き?)と聞きます。YesやNoに手を上げる子どもたち。先生は金魚や鳥、猫といった動物で繰り返

しながらYes/Noの答え方や、動物は複数形になることを教えてくれました。次は子どもたちがペアになって会話の練習です。最初は声が出なかった子も、何度も練習してスムーズに言えるようになりました。

後半はボランティアさんが手伝って、セミやカエル、象などの折り紙を楽しみました。先生が最後に、「折り紙を折る」は“fold”、「折り目をつける」は“crease”と教えてくれました。



そなエリア見学 (防災体験学習施設) 6月9日(日)

今回は外国人参加者19名に東京臨海広域防災公園内の防災体験学習施設(そなエリア)で、大地震などの大規模災害発生時にどう対処するか体験を通して学んでもらいました。

防災体験ゾーンでは首都直下地震の発生から避難までの流れを体験しました。音響、照明、映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、クイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動しました。地震発生後72時間の生存力をつける体験学習ですから、参加者はリアルに再現されたジオラマで必死に取り組んでいました。避難場所へ無事に移動出来た時はホッと、ゲーム機に表示された得点を確認し、参加者同士で点数を比べ合っていました。

体験の後は防災学習ゾーンで、アニメ「東京マグニチュー



ド8.0～東京直下72h～」を鑑賞しました。姉と弟の震災現場での懸命な行動と二人の絆に、みな胸を打たれ涙ぐむほどでした。ギャラリーでは世界各国の防災用具が展示されており、出身国の展示物には特に関心を寄せていました。

「地震発生後72時間の生存力」が震災時に大変に重要であることが参加者全員の胸に焼き付き、大きな収穫のあった防災体験ツアーでした。

ピサンキ教室

5月17日～6月21日 全6回

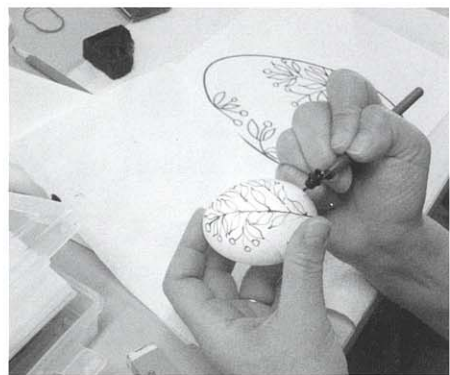


ウクライナの伝統工芸品であるピサンキ(エッグアート)講座が6回にわたって開催されました。講師は、昨年のこいだら国際交流芸術展で出展されたテチャーナ・ソロツカさんです。ピサンキは、主にイースターエッグとして知られていますが、模様には幸福、長寿、子孫繁栄などの意味がこめられているため、出産祝いや誕生日、婚約、快気祝いなどに贈られるそうです。テチャーナ先生は各テーブルを回りながら、一人ひとりやさしく丁寧にアドバイスをしてくれました。

参加者は、卵の殻に鉛筆で下書きをした後、黒い蜜ろうで細かい模様をなぞり、酢につけて着色の下準備をし、染料液につけて色付けします。その後ろうびきと染料による色付け

を繰り返しながら、最後にろうを溶かしてピサンキを完成させます。卵によって色合いがイメージと異なっていたり、ろうを溶かして出てきた配色が意外だった様子に、驚いたり楽しんでいました。

作業に夢中になりながら、参加者は仲間とおしゃべりを楽しんだり、出来上がった多彩な作品を比べあったりして、あっという間の2時間を過ごしていました。6回では短いからもっと続けてほしいとか、家ではなかなか出来ないけれどここで皆と集まって作品を作るのが楽しいという声も聞かれました。テチャーナ先生も希望者がいたら今後も開講したいとのことです。



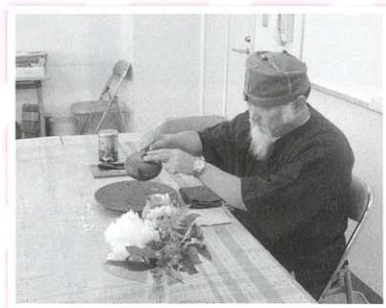
6月26日 ミャンマーの家庭料理
講師のミートウンさん(中央)



KIFA 写真館



4月13日 留学生商店街ツアーのあとの歓迎交流会



6月15日 台湾茶入門茶会
民族衣装に身をつつんだお弟子さん

インタビュー “リトアニア共和国”



紙で作った
クリスマス飾り

将来は翻訳家になりたいという
アグネさん



今回の外国人インタビューは、首都ビリニュス出身のアグネ・チェプカウスカイトさんです。アグネさんは今年2月の「世界の料理教室」でも講師をしてくださいました。

●日本に興味をもったきっかけは？

私は歌が好きでYouTubeなどの動画サイトで日本の音楽を知り、とても気に入ったのがきっかけです。イギリスのニューカッスル大学で日本語と日本文化を学んでいて、一年間の交換留学で一橋大学に来ました。今は日本語を勉強しています。日本の音楽は三味線など伝統的な音楽も好きですし、J-POPでは中島美嘉が一番好きです。

●リトアニアはどんな国ですか？

バルト海に面していて、森や湖の多い自然豊かな国です。冬は氷点下になり雪が降って寒いですが、夏は北海道と同じくらいの気温で快適です。野菜や果物の旬も夏なのでリト



●リトアニア共和国 (外務省データより)
面積 6.5 万平方キロメートル、人口約 300 万人、言語リトアニア語、通貨リタス (1リタス約 35 円 2013 年 3 月)、1990 年旧ソ連より独立、2004 年 EU 加盟

アニア人は夏が大好きです。家族で海や湖へ行って、バーベキューや舟遊びをして過ごします。

リトアニアに行くなら夏がベストシーズンで、海沿いのリゾート地クライペダとニダがおすすめです。両町とも静かでリラックスできます。

●リトアニアの料理はどんなものがありますか？

主食はパンで、ジャガイモやキャベツ、肉、サワークリームなどを使った料理が多いです。ジャガイモに肉を詰めたものや、サワークリームと赤カブを使った「ピンクスープ」という夏の食べものがあります。またソーセージもよく食べます。果物はりんご、なし、プラムやベリーなどを食べます。

●リトアニアの文化について教えてください。

リトアニア人は歌が好きで、4年に一度の「歌と踊りの祭り」はとても大きなお祭りです。1グループ100人ぐらいの団体が各地方から集まり、民族衣装を着て伝統的な歌や踊りを披露します。人々は4年間準備してお祭りに参加します。

キリスト教なので、イースターとクリスマスも盛大にお祝いします。クリスマスは子どもたちが紙で雪の結晶の飾りを作り、窓に飾る風習があります。

●日本の生活はいかがですか？

日本にはかわいらしい服が多いですね。私たちヨーロッパ人はカッコいい服が好みです。あと薬が高いのには驚きました。リトアニアもイギリスも、アスピリンが1箱60円くらいなのに日本では1000円もするので、日本人は病気にならないの？と思いました(笑)

インタビューに明るく答えてくれたアグネさん。今年9月にはイギリスに戻るそうですが、卒業したら日本の大学院に進学したいそうです。

안녕하세요
안녕하세요



韓国語入門と 韓流文化紹介講座

6月21日～7月12日、9月6日～27日 全8回

KIFAにおいてこれまでの外国語講座とは一味違った韓国語入門が開講しました。午前と午後の2クラスあり、この日は午前クラスの2回目にお邪魔しました。講師は交換留学生として東京学芸大学に通うパクさんとチョウさんです。

まずは母音と子音の読み方やつづりの勉強です。10個の基本母音字母と14個の基本子音字母の組み合わせで発音が決まるようで、一覧表のカナダラ表を見ながら一つずつ発音していきます。途中似たような発音に「難しい」というため息もあがり、先生と受講者は何回も読みあげ、生徒同士でも助け合いながら練習しました。国分寺駅に表示されている韓国語表記について質問があったり、韓流のドラマで耳にした発音の確認をするなど、受講者は熱心な様子でした。

その後、先生から「知っている韓国料理の名前を教えてください」と質問があると、日本でも馴染みのあるキムチやビビンパなどの名前が上がり、先生はそれらをホワイトボード

につづってくれました。その過程でサムゲタンのタンはスープという意味であるとか、日本と韓国のラーメンの違いなどを説明してくれ、受講者は楽しみながらハンゲルの読み方を覚えていきました。料理の話題から派生して、食事のマナーや日本と韓国の生活習慣の違いについても活発に話し合いました。

受講者は、韓国のドラマが好きだという人、独学してもなかなか学習が進まない、若い先生に習って今時の韓国文化を学びたい、など理由は様々でした。

この講座は先生自ら学習プログラムを作成し、受講者の学習状況を見ながらアレンジしているとのこと。今後は歌や映画などを通して日常会話に触れていくそうです。



特別寄稿

小平市国際交流協会の今後に期待

理事長 安部泰人

平成2年に当協会が設立されてから、22年が経過しました。その間には多くの方々のご支援並びにご協力を得まして、協会の役割と使命を徐々にではありますが果たしてきました。しかし、「国際化」の中心が「交流」から「多文化共生」へと移行するのに伴い、KIFAのあり方も変えていかなければならない時期に差し掛かっています。



そこで、従来の様々な活動をさらに発展させるために、KIFAを支えているボランティアのみなさんに主体となっていただき、事業内容と運営形態について見直しを行うことにしました。

その手始めの活動として、協会が実施している事業内容について、多文化共生の観点を含めて評価し、あらためて組み立てを考える「再構築チーム」を設置しました。多くのボランティアのみなさんが参加して、討論を重ねているところであります。

また、再構築チームで熟考されている目的を実現するために、より効果的に活動できる運営形態について検討する「組織検討委員会」を設置しました。役員をはじめ、長年KIFAに携わっている方々に委員をしていただいております。現在の形態にとらわれず、さまざまな可能性を比較し、今後のKIFAの方向性を決めていく予定です。

このようにKIFAに関わるみなさんが主体となって検討した目的と役割が、みなさん自身の手で達成されることにより、さらに大きく発展していくものと期待しているのであります。今後ともみなさまのご支援ご協力をお願い致します。

これからの行事予定

- ◎ゆかた着付教室 8月3日(土)13:00～15:00
- ◎夕涼み会 8月3日(土)15:00～17:00
- ◎国際交流フェスティバル 9月29日(日)福祉会館
- ◎留学生商店街ツアー 10月19日(土)
- ◎国際子どもクラブ(後期) 10月26日～1月11日 土曜日(10回)
- ◎英会話教室(後期) 10月～3月
- ◎フランス語入門(後期) 11月～3月
- ◎世界の料理(イラン) 11月15日(金)(予定)
- ◎台湾茶入門 9月～11月(予定)
- ◎外国人のための華道入門 11月～12月(予定)

災害時ボランティアロールプレイ

4月27日(土)

大規模災害が発生した場合に設置する「外国人支援センター」に向け、翻訳・通訳チームのボランティアが主体となって、災害時ボランティアロールプレイを行いました。センター要員や被災者役を演じることで、センターの立ち上げと運営を学びました。7月27日には「災害時対応チーム」が結成され、今後継続的に活動していきます。



平成24年度収支決算 (平成24年4月1日～平成25年3月31日まで)

科目	決算額	科目	決算額
賛助会費収入	1,285,000	事業費	9,937,601
補助金収入(市補助金)	13,798,000	国際理解国際親善の普及事業	5,909,585
寄附金収入	14,120	地域における友好交流事業	1,176,853
積立金繰入	200,000	地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	420,267
事業収入	7,258,225	国際交流情報の収集及び地域への情報提供事業	2,093,994
雑収入(預金利息等)	59,835	その他協会目的達成事業	336,902
前期繰越収支差額	424,178	管理費(管理運営費)	12,907,444
収入合計	23,039,358	支出合計	22,845,045

◎平成25年度賛助会費納入について 平成25年度の賛助会費の納入についてご協力をお願いしておりましたが、6月末時点で431件1,036,000円の納入がありました。ご協力に深く感謝申し上げます。

編集後記

6月には初めてのピサンキ教室を開くなど、精力的に活動を続けているKIFA。そんなKIFAの活動を、これからも「国際こだいら」で伝えていきたいです。文章を書くことの難しさを切実に感じている私ですが、頑張ります！

KIFAのイベントで国際交流を楽しみ、暑い夏を乗り越えていきましょう！
(M.Y)



発行日 平成25年8月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ
〒187-0045
小平市学園西町2-12-22
学園西町地域センター 3階
TEL. 042-342-4488
FAX. 042-347-3003

